

樹齢50年のケヤキ並木を中心に洗練されたデザインの広場は馬事公苑と一体となり都民に親しまれている。



当広場は元来世田谷区で最も広幅員
(約三メートル)の区道であったが、
通過交通量が少いため違法駐車が増え

ない状況であった。
こうしたなかで、昭和一四年に植え
られた「けやき」が大きく成長し、ま

た隣接して馬事公苑があることから区
ではここを対象として「生活と文化の
軸」整備計画を策定した。

これに従って、道路の自然石張り、
特徴ある街路灯、電線の地下埋設化、
雨水排水の地下浸透方式など様々な工
夫をこらし、色彩も周辺建物と合せ白
と黒色にした。

このような質の高い整備により、今
では区民に親しまれるアメニティの高
い広場となり、毎年八月の「サマーセ
たがやふるさと区民まつり」など様々
な催物の会場として広く利用されてい
る。また、違法駐車も激減し、隣接民
有地の塀が改良されるなどの誘導作用
も生じている。

データボード⑩

- ① 東京都世田谷区上用質
- ② 世田谷区役所 ☎03-412-1111
- ③ 延長121.2m、幅員32.6～37.7m、道路面積4,450.0㎡
- ④ 自然石（御影石、大理石、鉄平石）による舗装、ケヤキの大木43本（既存）
- ⑤ サマーせたがやふるさと区民まつり、園芸市、林間彫刻教室、ホースショウ